万全の温度管理とセキュリティシステム

Narita Temperature Controlled HUB

GDP
準拠施設が
誕生

こんなお悩みを
Narita Temperature Controlled HUB なら

すべて解決いたします!!

日本通運
NIPPON EXPRESS

温度管理輸送中のリスクを最小限に!
厳重な管理体制で製品の品質を守ります。

非常時の対応や入出庫管理のシステムを備え、GDP基準にも準拠。
製品の品質管理はおまかせください。

GDP 準拠施設

GDPとは

製造拠点から届け先まで、サプライチェーンの全段階を通じて医薬品の品質を確保することを目的とした基準。

厳密な温度管理システムで適正温度を維持

定温庫、冷蔵庫、冷凍庫を完備しているため、製品毎に適正な管理温度をお選びいただけます。庫内温度は常時システムによって監視されており、バリデーション※結果の提示も可能。設定温度逸脱時にはシステム検知により社員へ即時通知され、適切な対処を行います。

※バリデーション：妥当性確認。検査・分析の方法やその作業プロセスなどが適切であるか科学的に検証すること。

■施設別温度帯と面積

名称	温度	面積（㎡）	名称	温度	面積（㎡）
仕分け室	一般空調	257.1	前室	20℃	108.7
定温庫	20℃ ±5℃	180.9	冷蔵庫	5℃ ±3℃	171.9
		195.1			108.7
		88.2	冷凍庫	−20℃ 以下	65.1
		114.7			30.7

仕分け室

冷蔵庫

冷凍庫

監視システムとICタグによる高度なセキュリティ管理

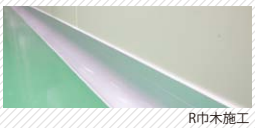
施設内全てを網羅する監視カメラとICタグによる入退室管理を実施。侵入や盗難といったトラブルを防止します。またカメラ映像、入退室のログデータを保管します。

非常時にはバックアップ電源により電力を確保

万が一の停電時にはバックアップ電源が直ちに発動。庫内温度の変動を防ぎ、監視体制を維持します。

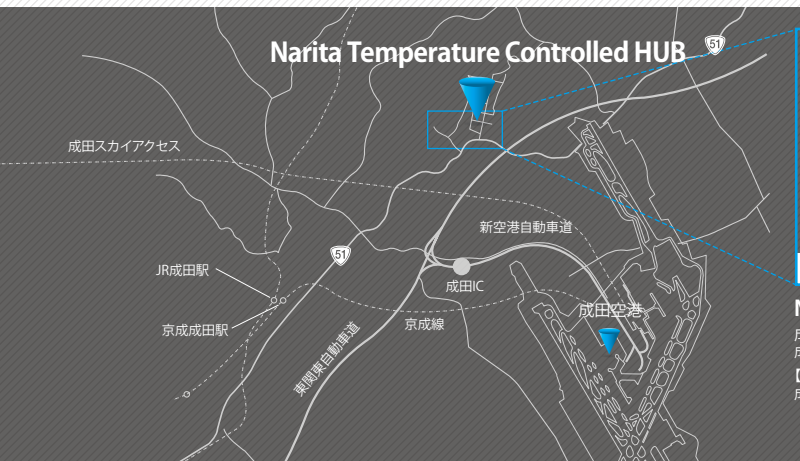
施設内の衛生管理とBCP

衛生管理として防虫・防鼠対策および防塵床、R巾木による塵対策を施しています。また冷蔵・冷凍機器はBCPの観点より2台構成となっており、1台でも設定温度を保てる仕様です。


R巾木施工

補虫器

日本通運 NIPPON EXPRESS



Narita Temperature Controlled HUB 詳細

成田空港第一物流センター 一般棟2階
成田市東和泉字境前443−50

【交通】東関東自動車道成田ICより車で約10分、
成田空港貨物地区より車で約15分